



2014年10月31日

各位

会社名：東京瓦斯株式会社  
代表者名：代表取締役社長 広瀬道明  
（コード：9531 東証・名証第1部）  
問合せ先：財務部IRグループマネージャー 坂田 一  
（TEL：(03) - 5400 - 3888）

**2015年3月期第2四半期決算 アナリスト向け説明資料**

標記アナリスト向け説明資料を、添付のとおり公表いたします。

以上

2014年度第2四半期決算説明会



2014年10月30日

---

# 1. 2014年度第2四半期決算実績概要

---



# 2014年度2Q実績 (2014.4.1 - 2014.9.30) <対前年度実績>

**ポイント** 5期連続増収・3期連続増益(売上高・3利益歴代1位) (+ - , +/-▲は利益に対する影響を示す, 億円)

<b>売上高</b>	+975 (+10.4%)	:	<b>+</b>	都市ガス売上増 (+732(+11.0%):数量差+389,単価差+351(スライド差+411、料金改定▲94等)等)	+	電力売上増 (+166(24.8%):数量差+77、単価差+88)	+	海外売上増 (+64(+73.7%):プルート売上増、バーネット通期寄与による売上増等)
<b>営業費用</b>	▲915 (▲10.6%)	:	<b>-</b>	都市ガス原材料費増 (▲729(▲17.8%):数量差▲337、単価差▲392(為替▲153、油価▲3、価格改定他))	<b>-</b>	電力燃料費増 (▲152(▲35.0%):数量差▲50、単価差▲101)		
<b>営業利益</b>	+60 (+8.9%)	:	<b>+</b>	都市ガス利益増 (+8(+1.3%):ガス粗利+11(数量差+52(内気温影響+7)、単価差▲41(スライド差+30,料金改定▲94等))	<b>+</b>	電力利益増 (+21(+20.7%):電力粗利+14(数量差+27、単価差▲13))	<b>+</b>	海外利益増 (+20(+119.0%):プルート利益増等)
<b>特別損益</b>	+118 (▲20→+98)	:	<b>+</b>	固定資産売却益+54、投資有価証券売却益+48等				(単位:億円)

スライドタイムラグ差 +30  
(+109 → +139)

	2014年度2Q	2013年度2Q	増減	%	前回見通し(7/31)	増減	%
ガス販売量(百万m <sup>3</sup> , 45MJ)	7,192	6,673	+519	+7.8%	7,136	+56	+0.8%
電力販売量(億kWh)	53.1	47.6	+5.5	+11.6%	53.7	▲0.6	▲1.1%
売上高	10,310	9,335	+975	+10.4%	10,330	▲20	▲0.2%
営業費用	9,564	8,649	+915	+10.6%	9,700	▲136	▲1.4%
営業利益	745	685	+60	+8.9%	630	+115	+18.3%
経常利益...①	726	649	+77	+11.8%	620	+106	+17.1%
当期純利益	570	427	+143	+33.3%	530	+40	+7.5%

気温影響...②	▲34	▲41	+7	—	▲38	+4	—
スライドタイムラグ...③	139	109	+30	—	105	+34	—
年金数理差異償却額...④	15	▲11	+26	—	15	0	—
補正経常利益...①-(②+③+④)	606	592	+14*	+2.4%	538	+68	+12.6%
補正当期純利益	488	389	+99	+25.4%	473	+15	+3.2%

※+14:ガス販売量増+45(気温影響+7控除後)、料金改定▲94、電力+21、海外+20、その他のセグメント利益他+22 年間期待運用収益率:2%

経済フレーム(2Q)	為替レート(¥/\$)	原油価格(\$/bbl)	平均気温(°C)
今年度実績	103.01	109.50	21.9
前年度実績	98.86 (+4.15)	107.69 (+1.81)	22.3 (▲0.4)
前回見通し	103.59 <▲0.58>	109.76 <▲0.26>	22.0 <▲0.1>

年金	運用利回り (コスト控除後)	期末資産(億円)		
2Q累計実績	2.54%	2,760		
(億円)	今年度実績	前年度実績	増減	%
設備投資	864	1,219	▲355	▲29.1%

( )内対前年度増減、<>内対前回増減

# 連結ガス販売量2Q実績

## 前年度実績 → 今年度実績

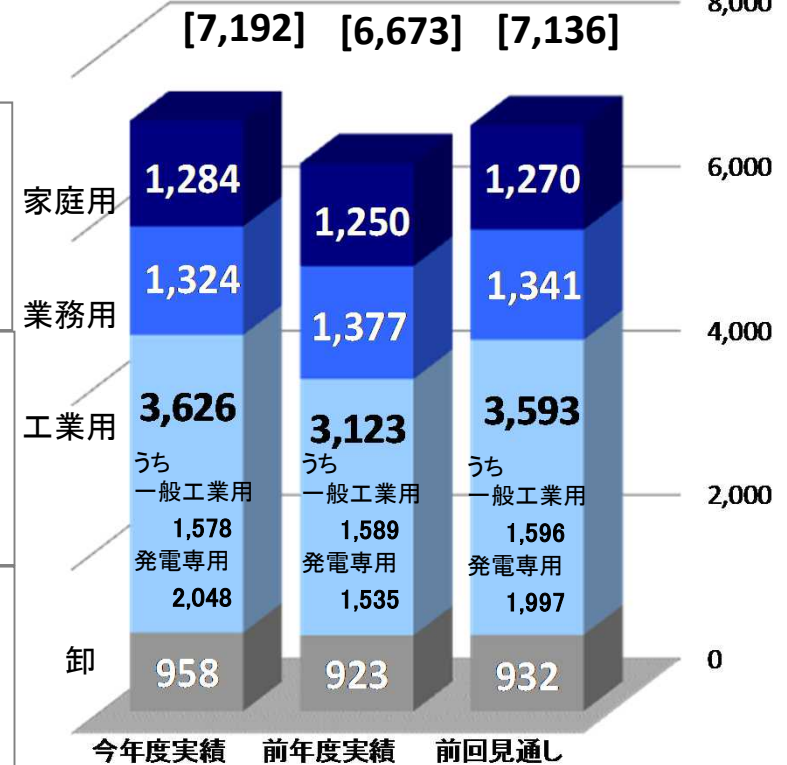
519百万m<sup>3</sup> (7.8%)の増加  
[うち気温影響 9百万m<sup>3</sup>, 0.1%の減少]

## 前回見通し → 今年度実績

56百万m<sup>3</sup> (0.8%)の増加  
[うち気温影響 3百万m<sup>3</sup>, 0.0%の増加]

ガス販売量:

(百万m<sup>3</sup>以下四捨五入)  
8,000



<b>■ 家庭用</b> +34百万m <sup>3</sup> (+2.7%) ● 気温要因 +10百万m <sup>3</sup> ● 日数影響 ▲6百万m <sup>3</sup> ● お客さま件数 +19百万m <sup>3</sup> ● その他 +11百万m <sup>3</sup>
<b>■ 業務用</b> ▲53百万m <sup>3</sup> (▲3.8%) ● 気温要因 ▲21百万m <sup>3</sup> ● 日数影響 ▲15百万m <sup>3</sup> ● お客さま件数 +3百万m <sup>3</sup> ● その他 ▲20百万m <sup>3</sup>
<b>■ 工業用</b> +503百万m <sup>3</sup> (+16.1%) ● 一般工業用: ▲11百万m <sup>3</sup> うち鹿島地区以外減 ▲42百万m <sup>3</sup> ● 発電専用: +513百万m <sup>3</sup> うち鹿島地区増分 +586百万m <sup>3</sup>
<b>■ 卸</b> +35百万m <sup>3</sup> (+3.9%) ● 気温要因 +2百万m <sup>3</sup> ● その他 +33百万m <sup>3</sup> 卸供給事業者需要増等

<b>■ 家庭用</b> +14百万m <sup>3</sup> (+1.1%) ● 気温要因 +5百万m <sup>3</sup> ● 日数影響 ▲0百万m <sup>3</sup> ● お客さま件数 +1百万m <sup>3</sup> ● その他 +8百万m <sup>3</sup>
<b>■ 業務用</b> ▲17百万m <sup>3</sup> (▲1.3%) ● 気温要因 ▲3百万m <sup>3</sup> ● 日数影響 0百万m <sup>3</sup> ● お客さま件数 ▲7百万m <sup>3</sup> ● その他 ▲8百万m <sup>3</sup>
<b>■ 工業用</b> +33百万m <sup>3</sup> (+0.9%) ● 一般工業用: ▲18百万m <sup>3</sup> うち鹿島地区以外減 ▲19百万m <sup>3</sup> ● 発電専用: +51百万m <sup>3</sup> うち鹿島地区増分 +70百万m <sup>3</sup>
<b>■ 卸</b> +26百万m <sup>3</sup> (+2.8%) ● 気温要因 +1百万m <sup>3</sup> ● その他 +25百万m <sup>3</sup> 卸供給事業者需要増等

	今年度実績	前年度実績	増減
LNG液販売量(千t)	378	343	+35
平均気温(°C)	21.9	22.3	▲0.4

	今年度実績	前年度実績	増減
お客さま件数	1,116.8	1,102.5	+14.3 (+1.3%)
上期純増件数	5.7	4.7	+1.0(+21.7%)

# トーリング込みガス販売量変化

## 2014年度2Q実績

### ●トーリングによるガス使用量込

百万m<sup>3</sup>, 45MJ/m<sup>3</sup>

	今年度実績	前年度実績	増減	前回見通し	増減
ガス販売量 (財務会計数値)	7,192	6,673	+519 +7.8%	7,136	+56 +0.8%
トーリングによる ガス自家使用量	831	743	+88 +11.7%	845	▲14 ▲1.7%
合計	8,023	7,416	+607 +8.2%	7,981	+42 +0.5%

### ●工業用ガス販売量内訳 (単位:百万m<sup>3</sup>)

	鹿島地区	その他地区	合計
発電専用	783	1,265	2,048
(対前年度実績)	+586(+298.8%)	▲74(▲5.5%)	+513(+33.4%)
(対前回見通し)	+70(+9.8%)	▲19(▲1.5%)	+51(+2.5%)
一般工業用	102	1,475	1,578
(対前年度実績)	+31(+43.8%)	▲42(▲2.8%)	▲11(▲0.7%)
(対前回見通し)	+1(+1.4%)	▲19(▲1.3%)	▲18(▲1.1%)
合計	885	2,741	3,626
(対前年度実績)	+618(+230.9%)	▲115(▲4.0%)	+503(+16.1%)
(対前回見通し)	+71(+8.8%)	▲38(▲1.4%)	+33(+0.9%)

(単位:百万m<sup>3</sup>)

(参考)卸供給に含まれる発電専用販売量内訳

発電専用	84
(対前年度実績)	+84 (-)
(対前回見通し)	+21 (+32.8%)

## 2014年度2Q実績 セグメント別売上高・営業損益 <対前年度実績>

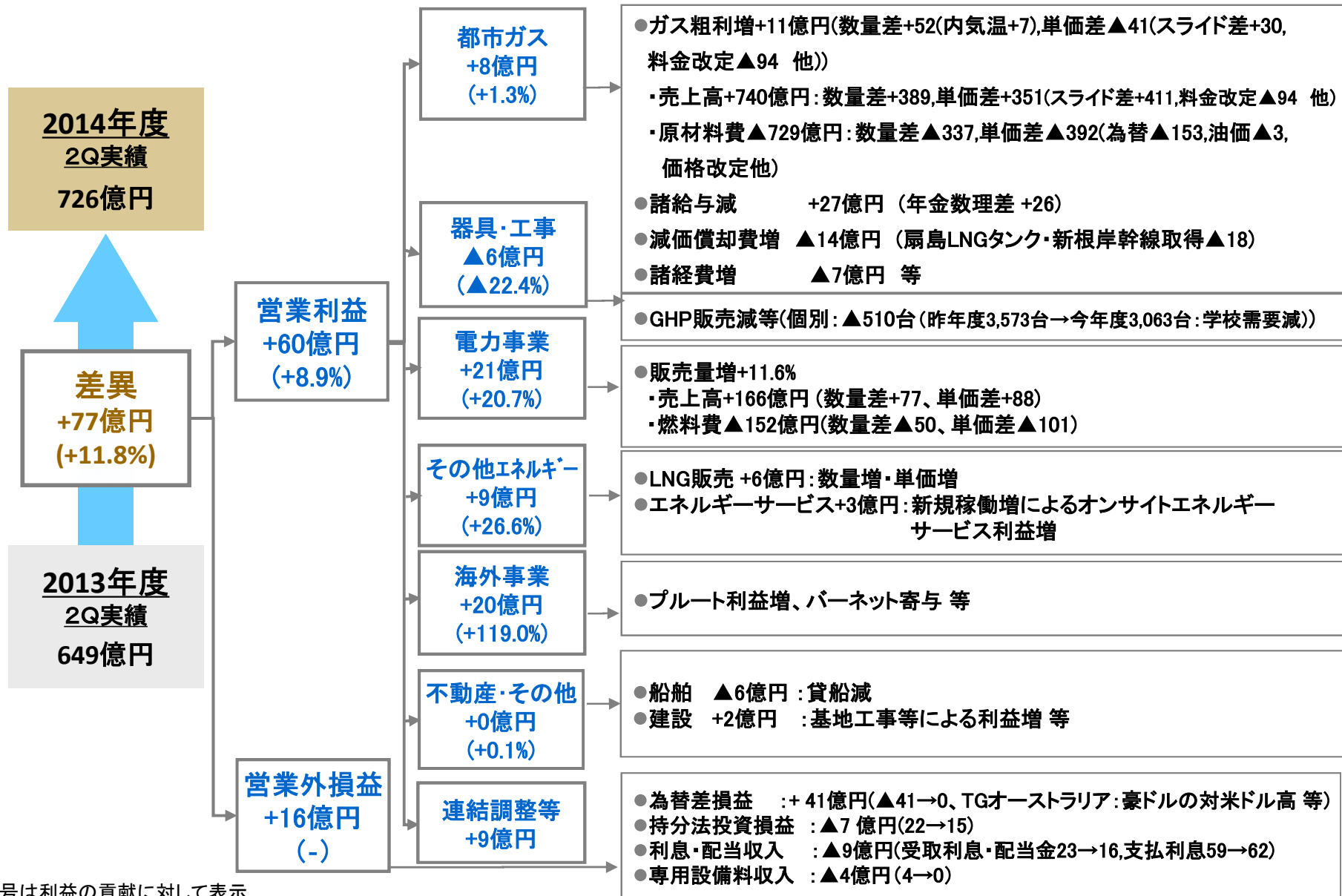
(単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	今年度実績	前年度実績	増減	%	今年度実績	前年度実績	増減	%
都市ガス	7,378	6,646	732	11.0	667	659	8	1.3
器具及びガス工事	866	933	▲67	▲7.2	23	29	▲6	▲22.4
その他エネルギー	1,937	1,658	279	16.8	163	133	30	22.2
(電力事業)	832	666	166	24.8	120	99	21	20.7
不動産	130	145	▲15	▲10.2	31	31	▲0	▲0.3
その他	961	836	125	14.9	60	40	20	49.9
(海外事業)	151	87	64	73.7	36	16	20	119.0
調整額	▲964	▲885	▲79	—	▲200	▲209	9	—
連結	10,310	9,335	975	10.4	745	685	60	8.9

- 注記:
- ・ セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
  - ・ 「その他エネルギー」には、「エネルギーサービス」、「液化石油ガス」、「電力」、「産業ガス」、「LNG販売」を含みます。
  - ・ 「その他」には、建設事業、情報処理サービス事業、船舶事業、クレジット・リース事業、海外事業等を含みます。
  - ・ 営業損益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。
  - ・ ( )内は内数表示

# 2014年度2Q実績 経常利益分析 <対前年度実績>

(単位: 億円)



※ 符号は利益の貢献に対して表示



---

## 2. 2014年度 通期見通し

---



# 2014年度通期見通し (2014.4.1 - 2015.3.31) <対前回見通し(7月31日発表)>

## 通期見通しのポイント 増収増益

(+ - , +/-▲は利益に対する影響を示す, 億円)

<b>売上高</b>	+30 (+0.1%)	-	都市ガス売上減	(▲17(▲0.1%):数量・構成差+58,単価差▲80(スライド差▲80)等)	---
		+	電力売上増	(+19(+1.1%):数量差+15、単価差+4)	スライドタイムラグ差 +73 (+35 → +108)
		+	海外売上増	(+18(+5.1%):プルート、バーネット売上増 等)	
<b>営業費用</b>	+90 (+0.4%)	+	都市ガス原材料費減	(+107(+1.0%):数量差▲46、単価差+153(為替▲197、油価+314他))	!
		+	電力燃料費減	(+4(+0.3%):数量差▲11、単価差+15)	---
		+	LNG販売費用減	(+18(+2.0%):数量差+6、単価差+12)	
<b>営業利益</b>	+120 (+9.0%)	+	都市ガス利益増	(+83(+6.4%):ガス粗利+85(数量差+12(内気温影響+4)、単価差+73(スライド差+73))	
		+	電力利益増	(+19(+12.8%):数量差+1、単価差+18)	
		+	LNG販売利益増	(+16(+37.5%):数量差+0、単価差+16)	(単位:億円)

	今回見通し	前回見通し	増減	%	前年度実績	増減	%
ガス販売量(百万m <sup>3</sup> , 45MJ)	15,387	15,326	+61	+0.4%	14,735	+652	+4.4%
売上高	22,910	22,880	+30	+0.1%	21,121	+1,789	+8.5%
営業費用	21,460	21,550	▲90	▲0.4%	19,460	+2,000	+10.3%
営業利益	1,450	1,330	+120	+9.0%	1,660	▲210	▲12.7%
経常利益...①	1,370	1,260	+110	+8.7%	1,596	▲226	▲14.2%
当期純利益	1,030	970	+60	+6.2%	1,084	▲54	▲5.0%

気温影響...②	▲34	▲38	+4	—	▲25	▲9	—
スライドタイムラグ...③	108	35	+73	—	164	▲56	—
年金数理差異償却額...④	30	30	0	—	▲22	+52	—
補正経常利益...①-(②+③+④)	1,266	1,233	+33*	+2.7%	1,479	▲213	▲14.4%
補正当期純利益	958	951	+7	+0.7%	1,007	▲49	▲4.9%

※+33:ガス販売量増+8(気温影響+4控除後)、電力+19、LNG販売+16、その他セグメント利益他▲10

年間期待運用収益率:2%

経済フレーム(通年)	為替レート(¥/\$)	原油価格(\$/bbl)	平均気温(°C)
今回見通し	106.51	104.75	16.9
前回見通し	104.29 (+2.22)	109.88 (▲5.13)	16.9 (0.0)
前年度実績	100.17 <+6.34>	110.00 <▲5.25>	17.0 <▲0.1>

年金	運用利回り (コスト控除後)	割引率	期末資産(億円)
2013年度	1.61%	1.5%	2,730
2012年度	6.10%	1.4%	2,760

(単位:億円)

設備投資	今回見通し	前回見通し	増減	%
2014年度	2,370	2,370	0	0.0%

( )内対前回増減、<>内対前年度増減

# 連結ガス販売量見通し<対前回見通し(7月31日発表)>

## 前回見通し → 今回見通し

61百万m<sup>3</sup> (0.4%)の増加  
[うち気温影響 2百万m<sup>3</sup>,0.0%の増加]

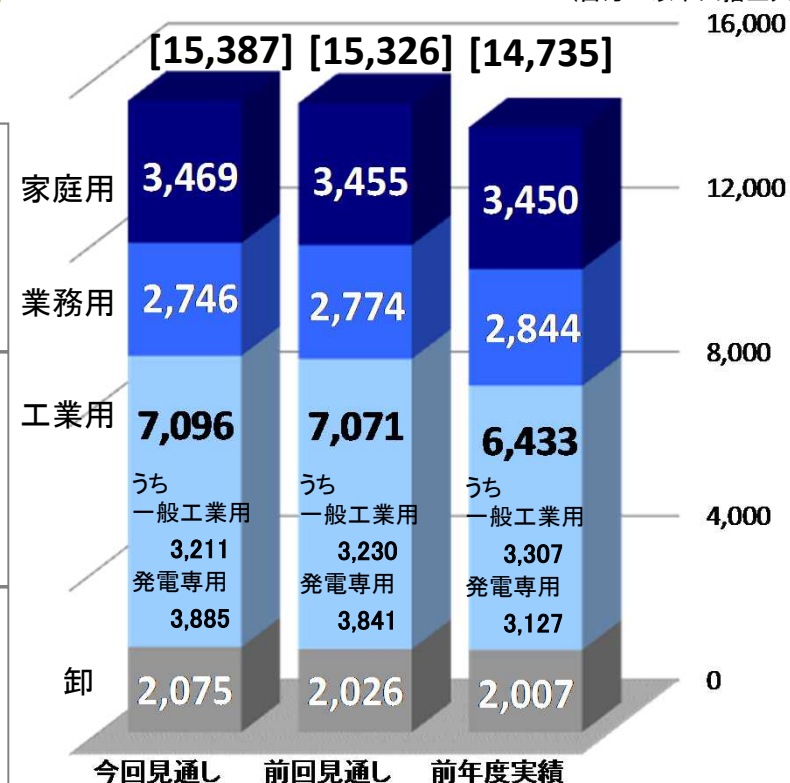
## 前年度実績 → 今回見通し

652百万m<sup>3</sup> (4.4%)の増加  
[うち気温影響 39百万m<sup>3</sup>,0.3%の減少]

前回見通し	今回見通し	前年度実績	今回見通し
<b>■ 家庭用</b> +14百万m <sup>3</sup> (+0.4%) ● 気温要因 +5百万m <sup>3</sup> ● 日数影響 ▲0百万m <sup>3</sup> ● お客さま件数 +1百万m <sup>3</sup> ● その他 +9百万m <sup>3</sup>	<b>■ 家庭用</b> +19百万m <sup>3</sup> (+0.6%) ● 気温要因 +1百万m <sup>3</sup> ● 日数影響 ▲12百万m <sup>3</sup> ● お客さま件数 +49百万m <sup>3</sup> ● その他 ▲18百万m <sup>3</sup>	<b>■ 家庭用</b> +19百万m <sup>3</sup> (+0.6%) ● 気温要因 +1百万m <sup>3</sup> ● 日数影響 ▲12百万m <sup>3</sup> ● お客さま件数 +49百万m <sup>3</sup> ● その他 ▲18百万m <sup>3</sup>	<b>■ 家庭用</b> +19百万m <sup>3</sup> (+0.6%) ● 気温要因 +1百万m <sup>3</sup> ● 日数影響 ▲12百万m <sup>3</sup> ● お客さま件数 +49百万m <sup>3</sup> ● その他 ▲18百万m <sup>3</sup>
<b>■ 業務用</b> ▲28百万m <sup>3</sup> (▲1.0%) ● 気温要因 ▲3百万m <sup>3</sup> ● 日数影響 0百万m <sup>3</sup> ● お客さま件数 ▲7百万m <sup>3</sup> ● その他 ▲18百万m <sup>3</sup>	<b>■ 業務用</b> ▲98百万m <sup>3</sup> (▲3.5%) ● 気温要因 ▲39百万m <sup>3</sup> ● 日数影響 ▲21百万m <sup>3</sup> ● お客さま件数 +3百万m <sup>3</sup> ● その他 ▲41百万m <sup>3</sup>	<b>■ 業務用</b> ▲98百万m <sup>3</sup> (▲3.5%) ● 気温要因 ▲39百万m <sup>3</sup> ● 日数影響 ▲21百万m <sup>3</sup> ● お客さま件数 +3百万m <sup>3</sup> ● その他 ▲41百万m <sup>3</sup>	<b>■ 業務用</b> ▲98百万m <sup>3</sup> (▲3.5%) ● 気温要因 ▲39百万m <sup>3</sup> ● 日数影響 ▲21百万m <sup>3</sup> ● お客さま件数 +3百万m <sup>3</sup> ● その他 ▲41百万m <sup>3</sup>
<b>■ 工業用</b> +25百万m <sup>3</sup> (+0.4%) ● 一般工業用: ▲19百万m <sup>3</sup> うち鹿島地区以外減 ▲14百万m <sup>3</sup> ● 発電専用: +44百万m <sup>3</sup> うち鹿島地区増分 +78百万m <sup>3</sup>	<b>■ 工業用</b> +663百万m <sup>3</sup> (+10.3%) ● 一般工業用: ▲96百万m <sup>3</sup> うち鹿島地区以外減 ▲114百万m <sup>3</sup> ● 発電専用: +758百万m <sup>3</sup> うち鹿島地区増分 +896百万m <sup>3</sup>	<b>■ 工業用</b> +663百万m <sup>3</sup> (+10.3%) ● 一般工業用: ▲96百万m <sup>3</sup> うち鹿島地区以外減 ▲114百万m <sup>3</sup> ● 発電専用: +758百万m <sup>3</sup> うち鹿島地区増分 +896百万m <sup>3</sup>	<b>■ 工業用</b> +663百万m <sup>3</sup> (+10.3%) ● 一般工業用: ▲96百万m <sup>3</sup> うち鹿島地区以外減 ▲114百万m <sup>3</sup> ● 発電専用: +758百万m <sup>3</sup> うち鹿島地区増分 +896百万m <sup>3</sup>
<b>■ 卸</b> +49百万m <sup>3</sup> (+2.5%) ● 気温要因 +1百万m <sup>3</sup> ● その他 +48百万m <sup>3</sup> 卸供給事業者需要増等	<b>■ 卸</b> +68百万m <sup>3</sup> (+3.4%) ● 気温要因 ▲0百万m <sup>3</sup> ● その他 +68百万m <sup>3</sup> 卸供給事業者需要増等	<b>■ 卸</b> +68百万m <sup>3</sup> (+3.4%) ● 気温要因 ▲0百万m <sup>3</sup> ● その他 +68百万m <sup>3</sup> 卸供給事業者需要増等	<b>■ 卸</b> +68百万m <sup>3</sup> (+3.4%) ● 気温要因 ▲0百万m <sup>3</sup> ● その他 +68百万m <sup>3</sup> 卸供給事業者需要増等

ガス販売量:

(百万m<sup>3</sup>以下四捨五入)



	今回見通し	前回見通し	増減
LNG液販売量(千t)	949	955	▲6
平均気温(°C)	16.9	16.9	0.0

### お客さま件数(万件)

	今回見通し	前回見通し	増減
	1,124.4	1,123.8	+0.6(+0.1%)

# トーリング込みガス販売量変化

## 2014年度見通し

### ●トーリングによるガス使用量込

百万m<sup>3</sup>, 45MJ/m<sup>3</sup>

	今回 見通し	前回 見通し	増減	前年度 実績	増減
ガス販売量 (財務会計数値)	15,387	15,326	+61 +0.4%	14,735	+652 +4.4%
トーリングによる ガス自家使用量	1,676	1,664	+12 +0.7%	1,510	+166 +11.0%
合計	17,063	16,990	+73 +0.4%	16,245	+818 +5.0%

2020ビジョンベース      18,249      18,184      +65      17,225      +1,024

### ●工業用ガス販売量内訳 (単位:百万m<sup>3</sup>)

	鹿島地区	その他地区	合計
発電専用	1,477	2,408	3,885
(対前回見通し)	+78(+5.5%)	▲33(▲1.4%)	+44(+1.1%)
(対前年度実績)	+896(+154.2%)	▲138(▲5.4%)	+758(+24.3%)
一般工業用	203	3,008	3,211
(対前回見通し)	▲5(▲2.4%)	▲14(▲0.5%)	▲19(▲0.6%)
(対前年度実績)	+19(+10.1%)	▲114(▲3.7%)	▲96(▲2.9%)
合計	1,680	5,416	7,096
(対前回見通し)	+73(+4.5%)	▲48(▲0.9%)	+25(+0.4%)
(対前年度実績)	+915(+119.5%)	▲252(▲4.4%)	+663(+10.3%)

(単位:百万m<sup>3</sup>)

(参考)卸供給に含まれる発電専用販売量内訳

発電専用	173
(対前年度実績)	+157(+1031.4%)
(対前回見通し)	+43(+33.3%)

## 2014年度見通し セグメント別売上高・営業損益 <対前回見通し(7月31日発表)>

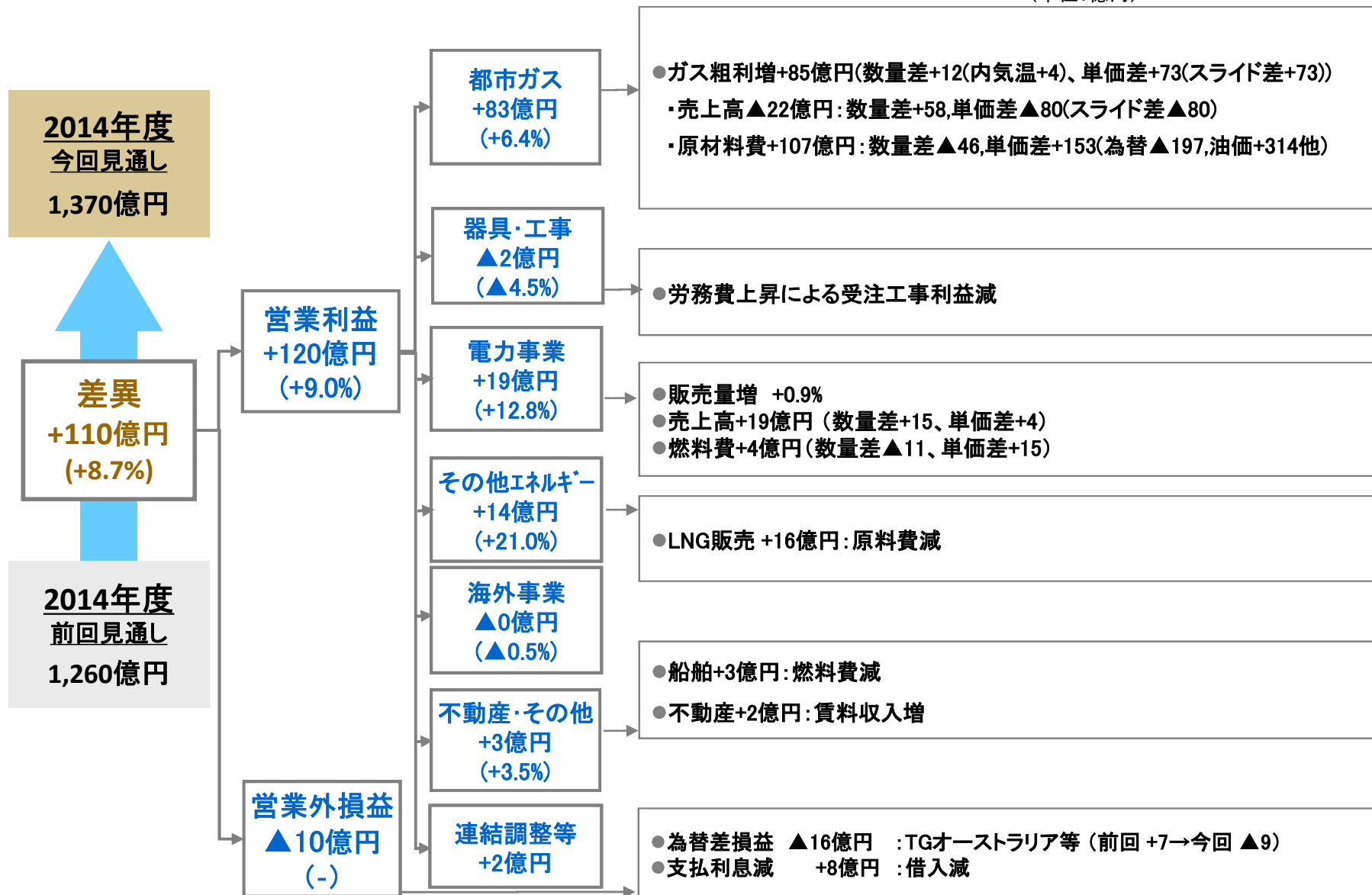
(単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	今回見通し	前回見通し	増減	%	今回見通し	前回見通し	増減	%
都市ガス	16,242	16,259	▲17	▲0.1	1,371	1,288	83	6.4
器具及びガス工事	2,108	2,099	9	0.4	42	44	▲2	▲4.5
その他エネルギー	4,150	4,146	4	0.1	258	224	34	15.2
(電力事業)	1,655	1,636	19	1.1	178	159	19	12.8
不動産	242	241	1	0.4	41	39	2	5.1
その他	2,135	2,093	42	2.0	159	158	1	0.6
(海外事業)	366	348	18	5.1	96	96	▲0	▲0.5
調整額	▲1,967	▲1,958	▲9	—	▲421	▲423	2	—
連結	22,910	22,880	30	0.1	1,450	1,330	120	9.0

- 注記:
- ・ セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
  - ・ 「その他エネルギー」には、「エネルギーサービス」、「液化石油ガス」、「電力」、「産業ガス」、「LNG販売」を含みます。
  - ・ 「その他」には、建設事業、情報処理サービス事業、船舶事業、クレジット・リース事業、海外事業等を含みます。
  - ・ 営業損益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。
  - ・ ( )内は内数表示

# 2014年度見通し 経常利益分析 <対前回見通し(7月31日発表)>

(単位: 億円)



※ 符号は利益の貢献に対して表示

## 2014年度見通し セグメント別売上高・営業損益 <対前年度実績>

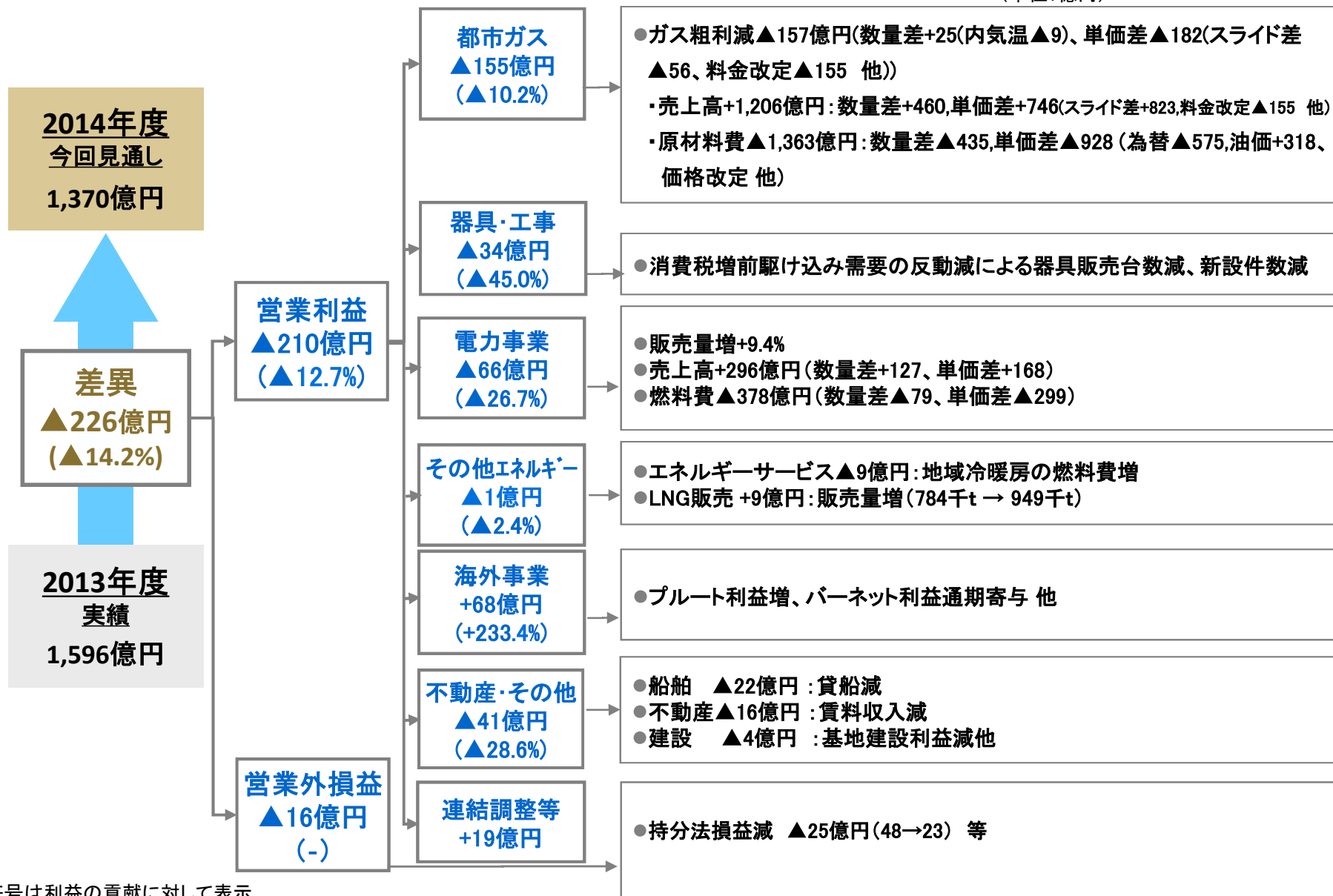
(単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	今回見通し	前年度実績	増減	%	今回見通し	前年度実績	増減	%
都市ガス	16,242	15,051	1,191	7.9	1,371	1,526	▲155	▲10.2
器具及びガス工事	2,108	2,217	▲109	▲4.9	42	76	▲34	▲45.0
その他エネルギー	4,150	3,575	575	16.1	258	325	▲67	▲20.7
(電力事業)	1,655	1,359	296	21.7	178	244	▲66	▲26.7
不動産	242	283	▲41	▲14.5	41	57	▲16	▲28.1
その他	2,135	1,993	142	7.1	159	116	43	36.0
(海外事業)	366	221	145	65.6	96	28	68	233.4
調整額	▲1,967	▲2,000	33	—	▲421	▲441	19	—
連結	22,910	21,121	1,789	8.5	1,450	1,660	▲210	▲12.7

- 注記:
- ・ セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
  - ・ 「その他エネルギー」には、「エネルギーサービス」、「液化石油ガス」、「電力」、「産業ガス」、「LNG販売」を含みます。
  - ・ 「その他」には、建設事業、情報処理サービス事業、船舶事業、クレジット・リース事業、海外事業等を含みます。
  - ・ 営業損益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。
  - ・ ( )内は内数表示

# 2014年度見通し 経常利益分析 <対前年度実績>

(単位: 億円)



※ 符号は利益の貢献に対して表示



## 設備投資

設備投資	主な件名	【参考】当初計画
東京ガス: 1,598 億円 (▲6億円,▲0.4%)	製造設備 :351億円 (▲2億円) 日立LNG基地建設等	東京ガス: 1,604億円
	供給設備 :1,006億円 (+6億円) 茨城～栃木等幹線整備、需要開発関連等	
	業務設備等:239億円 (▲11億円) システム関連投資、田町開発関連等	
連結子会社計: 785億円 (+2億円, +0.3%)	海外上流投資 305億円 オンサイトエネルギー-80億円(ENAC)他	連結子会社計: 783億円
合 計 2,370億円 (0億円,0.0%, 連結消去後)		合計:2,370億円 (連結消去後)

※ ( ) 内増減は対2014年度当初計画の数値

## 投融资

172億円(投融资244億円、投融资回収▲72億円、対当初▲22億円)

## 株主還元

647億円(TG個別分・キャッシュフローベース、対当初変更なし)  
(13年度期末及び14年度中間配当247億円、14年度自社株取得額400億円合計)

## 所要資金と資金調達

【2Q実績】

所要資金		資金調達	
設備投資	864	減価償却等	681
その他投融資※	▲59	経常利益	726
決算資金	428	その他	289
自社株取得	400	計	1,696
償還・返済 (個別分)	581 (407)	外部資金 (個別分)	518 (330)
計	2,214	計	2,214

【年度見通し】

(単位:億円)

所要資金		資金調達	
設備投資	2,370	減価償却等	1,420
その他投融資※	172	経常利益	1,370
決算資金	664	その他	602
自社株取得	400	計	3,392
償還・返済 (個別分)	629 (413)	外部資金 (個別分)	843 (506)
計	4,235	計	4,235

※その他投融資は、投融資と投融資回収による相殺後。

年度内に発行・償還される季節運転資金としてのCPは、上記表には含まれていない。

## 有利子負債残高

2013年度末:7,138億円

2014年度上期末:7,574億円 2014年度末見通し:7,420億円(対当初計画▲310億円)

- 当社は、財務方針において総分配性向(連結当期純利益に対する配当と自社株取得の割合)の目標を、2020年度に至るまで各年度6割程度とし、配当と自社株取得により株主還元を行っている。
- 今回発表の2014年度連結純利益見通しに対し、10円の配当を維持し、6割の株主還元を行った場合の見通しは以下の通りとなる。

## 総分配性向60%を維持

総分配性向  
60.0%

2014年度  
配当額  
244億円

+

2015年度  
自社株取得  
374億円

=

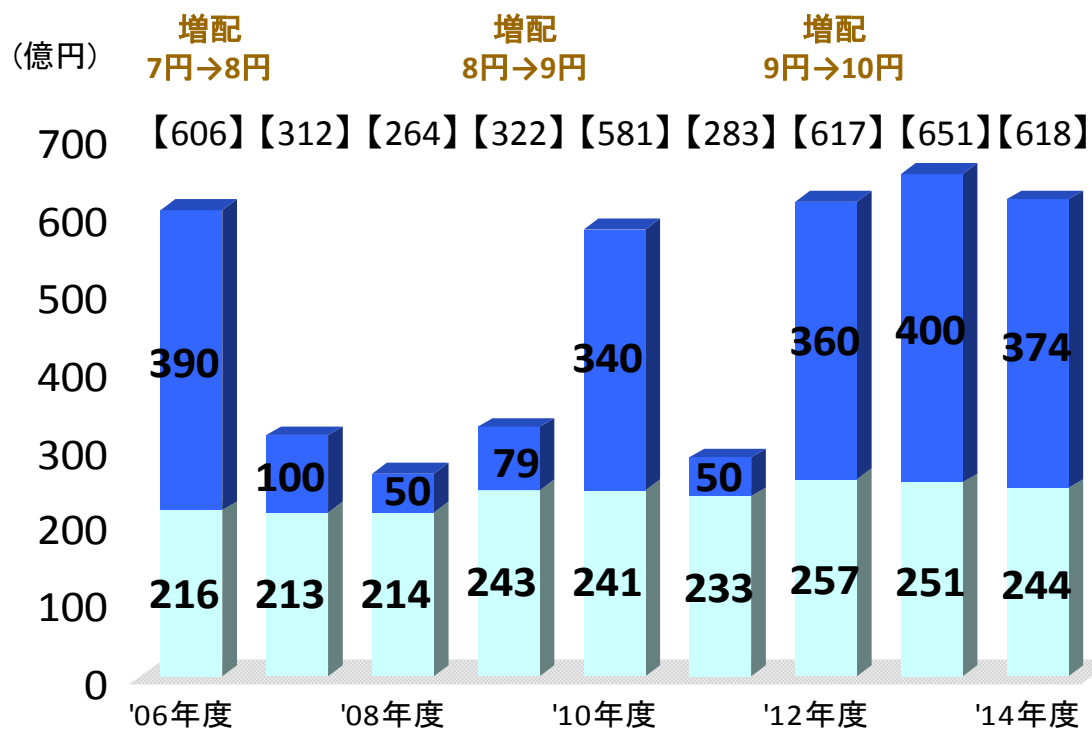
---

2014年度  
連結当期純利益  
1,030億円

※発行済株式総数: 2,446,778,295株(2014年9月30日現在)

## 総分配額、配当額の推移

■ 自社株取得額  
■ 配当額



総分配性向	(60.1%)	(73.6%)	(63.4%)	(60.1%)	(60.9%)	(61.4%)	(60.7%)	(60.0%)	(60.0%)
-------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

## 主要計数表(連結)

(単位: 億円)

	2014年度 今回見通し	2014年度 前回見通し	2013年度 実績
総資産 (a)	22,220	22,320	21,768
自己資本 (b)	10,510	10,360	10,117
自己資本比率 (b)/(a)	47.3%	46.4%	46.5%
有利子負債 (c)	7,420	7,710	7,138
D/E レシオ (c)/(b)	0.71	0.74	0.71
当期純利益 (d)	1,030	970	1,084
減価償却 (e)	1,420	1,420	1,403
営業キャッシュフロー (d) + (e)	2,450	2,390	2,488
設備投資 (Capex)	2,370	2,370	2,480
ROA: (d) / (a)	4.7%	4.4%	5.2%
ROE: (d) / (b)	10.0%	9.5%	11.2%
TEP	272	244	507
WACC	3.6%	3.5%	3.2%*
総分配性向	60%程度予定	60%程度予定	60.0%

注: 自己資本 = 純資産 - 少数株主持分  
 ROA = 純利益 / 総資産 (期首・期末平均)  
 ROE = 純利益 / 自己資本 (期首・期末平均)  
 BS関連数値は各期末時点の数値  
 営業キャッシュフロー = 純利益 + 減価償却 (長期前払費用償却含む)  
 総分配性向 = [N年度の配当 + (N+1)年度の自社株取得] / N年度の連結純利益  
 \* 発行済株式総数: 2,446,778,295株(2014年9月30日現在)

TEP (Tokyo Gas Economic Profit) について  
 TEP = NOPAT - 資本コスト (投下資本 × WACC)  
 WACC 算定諸元 (2014年度見通し)  
 ・有利子負債コスト 見通し金利 1.1% (税引後)  
 ・株主資本コスト率  
   ・リスクフリーレート 10年国債利回 0.8%  
   ・リスクプレミアム 5.5% β 値 0.75 (※2013年度までリスクプレミアム 4%)  
   ・資本金 = 時価総額

---

### 3. 参考資料

---

## 原油価格JCCが \$1/bbl 上昇する場合

(単位:億円)

		収支影響時期		
		第3四半期	第4四半期	下期計
変動時期	第3四半期	▲4	▲11	▲15
	第4四半期	—	▲6	▲6
	下期	▲4	▲17	▲21

## 円ドルレートが ¥1/\$ 円安になる場合

(単位:億円)

		収支影響時期		
		第3四半期	第4四半期	下期計
変動時期	第3四半期	▲12	+13	+1
	第4四半期	—	▲17	▲17
	下期	▲12	▲4	▲16

上期・下期別のスライド影響額

(単位:億円)

	上期	下期	通期
当初計画	47	▲59	▲12
前回発表	105	▲70	35
今回発表	139	▲31	108



#### <見通しに関する注意事項>

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた東京ガスの経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与える重要な要素には、日本経済の動向、原油価格の動向、気温の変動、円ドルの為替レート変動、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への東京ガスの対応等があります。

#### <資料における計算方法>

数値は切り捨て、四捨五入をしていますが、変化率は実数で計算しているため、表上での計算が一致しないことがあります。

**TSE:9531**

---



# 参考資料

	ページ
実績編	
・連結 主要決算数値（14年度 対 13年度）	1
会社別・セグメント別売上高内訳	2
資産構成変化（14年9月末 対 14年3月末）	3
・個別 主要決算数値（14年度 対 13年度）	4
営業主要計数 内訳（14年度 対 13年度）	5
主要決算数値（14年度 対 7/31見通し）	6
営業主要計数 内訳（14年度 対 7/31見通し）	7
・連結 営業キャッシュフロー 及び 設備投資内訳	8
見通し編	
・個別 経済フレーム及び年度収支影響感度	9
・連結 主要決算数値（今回見通し 対 7/31見通し）	10
・個別 主要決算数値（今回見通し 対 7/31見通し）	11
営業主要計数内訳（今回見通し 対 7/31見通し）	12
主要決算数値（今回見通し 対 13年度）	13
営業主要計数内訳（今回見通し 対 13年度）	14
・連結 営業キャッシュフロー 及び 設備投資内訳	15

# 実績編

## 連結 主要決算数値 (14年度 対 13年度)

第2四半期実績

(単位:億円未満切捨て)

	FY14 2Q	FY13 2Q	増減		備考
売上高	10,310	9,335	975	10.4%	都市ガス+732(単価増、販売量増)、その他エネルギー+279(電力+166、LNG販売+61)
営業利益	745	685	60	8.9%	都市ガス+8、その他エネルギー+30(電力+21)、その他+20(海外+20)
経常利益	726	649	77	11.8%	為替影響+41、持分法による投資利益▲7、専用設備料収入▲4
当期純利益	570	427	143	33.3%	[当期]固定資産売却益54、投資有価証券売却益48他
総資産 ※	21,023	21,768	-745	-3.4%	流動資産▲728(譲渡性預金▲780)、投資その他の資産▲117、有形固定資産+108
自己資本 ※	10,009	10,117	-108	-1.1%	当期純利益570、自己株式市場買付▲399、為替換算調整勘定▲128、配当金支払▲125
自己資本比率 ※ (%)	47.6%	46.5%	1.1	—	総資産の減少率(▲3.4%)に対し、自己資本の減少率(▲1.1%)が小さかったため上昇
総資本回転率 (回転)	0.48	0.47	0.01	—	
有利子負債残高 ※	7,574	7,138	436	6.1%	東京ガス+437
当期純利益	570	427	143	33.3%	
減価償却(*2・3)	681	665	16	2.5%	東京ガス+15(個別へース)
営業キャッシュ・フロー(*1)	1,252	1,093	159	14.5%	
設備投資(*2)	864	1,219	-355	-29.1%	TGハートネット▲453、東京ガス+121
1株当たり四半期純利益(円/株)	23.22	16.97	6.25	36.8%	当期純利益増(+143)により上昇
1株当たり純資産 ※ (円/株)	410.16	402.91	7.25	1.8%	

FY13 2Q数値は、P/L系の項目は前年同四半期数値を表示、B/S系の項目は前期末(2014年3月末)数値を表示(※印付き項目)

(\*1)営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書値ではなく「当期純利益+減価償却」で定義した簡便法で算定

(\*2)設備投資・減価償却は内部取引相殺後額

(\*3)減価償却には長期前払費用償却を含む

## 連結会社別・セグメント別売上高内訳表

百万円

		セグメント別外部売上高					計	外部 売上高比率	内部 売上高	単独決算 売上高
		都市ガス	器具及び工事	その他エネルギー	不動産	その他				
東京ガス(A)		687,041	57,189	102,924	0	3,362	850,517	90.1%	93,435	943,953
連結 会社 別 外部 売上 高 計	東京ガス都市開発	0	0	0	4,439	0	4,439	36.3%	7,795	12,234
	エネルギーアドバンス	0	0	41,635	0	0	41,635	95.4%	1,987	43,623
	ガスター	0	8,581	0	0	0	8,581	51.7%	8,017	16,598
	東京エルクエーター	0	0	0	0	1,845	1,845	16.9%	9,104	10,950
	キャプティ	0	7,196	0	0	1,568	8,764	34.7%	16,496	25,261
	東京ガス・エンジニアリング	0	0	0	0	11,205	11,205	45.2%	13,577	24,782
	ニジオ	0	0	10,579	0	0	10,579	15.6%	57,308	67,887
	その他	21,903	8,049	35,063	912	27,550	93,478	68.6%	42,741	136,220
連結子会社計(B)		21,903	23,827	87,278	5,351	42,169	180,530	53.5%	157,028	337,559
連結会社合計		708,944	81,017	190,202	5,351	45,532	1,031,048	80.5%	250,464	1,281,512
外部売上比率		94.9%	74.6%	61.1%	39.5%	45.2%	80.5%	-	-	-
内部売上高(C)		38,366	27,539	121,166	8,186	55,205	250,464	-	250,464	-
単純合算売上高(A)+(B)+(C)		747,310	108,557	311,369	13,538	100,737	1,281,512	-	-	-

## 連結資産構成の変化(14年9月末 対 14年3月末)

(対前年度末比較)

億円

	2014/09末		2014/03末		増減		増減内訳
		構成比		構成比			
<b>【資産の部】</b>							
固定資産	15,909	75.7%	15,925	73.2%	-16	-0.1%	(有形・無形固定資産)設備投資864、償却▲681 (投資その他の資産)退職給付に係る資産▲92、投資有価証券▲17
流動資産	5,114	24.3%	5,842	26.8%	-728	-12.5%	有価証券(譲渡性預金)▲780
資産合計	21,023	100.0%	21,768	100.0%	-745	-3.4%	

<b>【負債の部】</b>							
有利子負債	7,574	36.0%	7,138	32.8%	436	6.1%	(長期借入金)新規借入+196、返済▲240 (コマーシャルペーパー)+480
退職給付引当金	764	3.6%	849	3.9%	-85	-10.0%	
支払手形・買掛金	753	3.6%	1,130	5.2%	-377	-33.3%	買掛金▲373
その他負債	1,744	8.3%	2,354	10.8%	-610	-25.9%	未払法人税等▲63、未払金等▲347、未払費用等▲122
負債合計	10,837	51.6%	11,473	52.7%	-636	-5.5%	
<b>【純資産(資本)の部】</b>							
株主資本	9,694	46.1%	9,673	44.4%	21	0.2%	(利益剰余金・自己株式)+21(当期純利益570、自己株市場買付▲399、 配当金支払▲125)
その他の包括利益累計額	315	1.5%	443	2.0%	-128	-29.0%	(為替換算調整勘定)▲128
少数株主持分	176	0.8%	177	0.8%	-1	-0.2%	
純資産(資本)合計	10,186	48.4%	10,294	47.3%	-108	-1.1%	自己資本比率46.5%(2014/03末)→47.6%(2014/09末)
負債・純資産(資本)合計	21,023	100.0%	21,768	100.0%	-745	-3.4%	

# 個別 主要決算数値(14年度 対 13年度)

## 第2四半期実績

	億円			
	今期	前期	増減	
総売上高	9,439	8,504	935	11.0%
営業利益	555	551	4	0.8%
経常利益	600	583	17	2.8%
当期純利益	479	395	84	21.1%

### 料金スライドの収支への影響

	億円		
	今期	前期	増減
料金によるスライド回収	329	-74	403
原料費の増加分	188	-183	371
差し引き	141	109	32

金額は基準価格に対する増減額

### 経済フレーム

	今期	前期	増減
原油価格	109.50	107.69	1.81
為替レート	103.01	98.86	4.15

\$/bbl

円/\$

		億円			
		今期	前期	増減	
製品売上高(ガス売上高)		7,209	6,473	736	11.4%
営業費用	原材料費	4,772	4,046	726	17.9%
	(粗利)	(2,437)	(2,427)	(10)	(0.4%)
	諸給与	428	462	-34	-7.3%
	諸経費	1,135	1,129	6	0.6%
	減価償却費	496	481	15	3.2%
	LNG受託加工費	-23	-23	0	-
計		6,809	6,095	714	11.7%
受注工事収支		0	0	0	-
器具販売等収支		54	68	-14	-20.0%
営業雑収支		53	67	-14	-20.7%
附帯事業収支		101	105	-4	-3.6%
営業利益		555	551	4	0.8%
営業外収支		44	32	12	37.7%
経常利益		600	583	17	2.8%
特別利益		61	0	61	-
特別損失		5	20	-15	-75.4%
法人税等		177	167	10	6.0%
当期純利益		479	395	84	21.1%

数量・料金構成差+393億円、単価差+343億円

数量・原料構成差+340億円、単価差+386億円(為替影響=+153、油価影響=+3)

数量・構成差+53億円、単価差▲43億円

数理計算上の差異▲26億円、人員減 他

詳細は下記参照

設備取得に伴う増

器具収支▲6億円(GHP台数減▲2億円等) 他

電力販売▲11億円、LNG販売+6億円 他

為替レート差損益+13億円 他

今期: 投資有価証券売却益48億円、固定資産売却益12億円

今期: 関係会社投資有価証券評価損5億円、 前期: 固定資産減損損失20億円

		億円			
		今期	前期	増減	
修繕費		162	172	-10	-5.6%
消耗品費		72	70	2	2.2%
賃借料		89	91	-2	-2.1%
委託作業費		318	313	5	1.6%
租税課金		231	221	10	4.4%
需要開発費		86	88	-2	-3.2%
その他		177	174	3	2.6%

ガス栓対策引当▲13億円 他

消費税改正対応+5億円 他

売上高増に伴う事業税増+9億円 他

電力料+5億円 他

## 個別 営業主要計数(14年度 対 13年度)

### 第2四半期実績

お客さま件数

千件

	今期	前期	増減	
お客さま件数	10,865	10,725	140	1.3%
新設件数	101	96	5	6.2%

個別ガス販売実績

百万m3

	今期	前期	増減			
家庭用1件当り販売量(m3)	135.5	133.7	1.8	1.3%	気温影響+1.1m3(+0.8%)、日数差異▲0.6m3(▲0.5%)、その他+1.3m3(+1.0%)	
家庭用	1,243	1,209	34	2.8%	気温影響+10百万m3(+0.8%)、日数差異▲6百万m3(▲0.5%)、件数差異+19百万m3(+1.5%)、その他+11百万m3(+1.0%)	
業務用	商業用	824	865	-41	-4.8%	
	その他用	425	435	-10	-2.3%	
	業務用計	1,249	1,300	-51	-3.9%	気温影響▲21百万m3(▲1.6%)、日数差異▲14百万m3(▲1.1%)、件数差異+3百万m3(+0.2%)、その他▲19百万m3(▲1.4%)
工業用	発電専用	2,048	1,535	513	33.4%	既存設備の増強等
	発電専用以外	1,491	1,494	-2	-0.2%	
	工業用計	3,539	3,028	511	16.9%	
計	4,788	4,328	460	10.6%		
卸供給	1,064	1,033	31	3.0%	気温影響+2百万m3(+0.2%)、卸先需要家需要増+29百万m3(+2.8%)	
合計	7,095	6,571	524	8.0%	気温影響▲9百万m3(▲0.1%)、発電専用+513百万m3(+7.8%)、工業用(発電専用以外)▲2百万m3(▲0.0%)、卸供給(気温影響除き)+29百万m3(+0.4%)、その他▲7百万m3(▲0.1%)	
(内大口供給)	4,359	3,797	562	14.8%		

# 個別 主要決算数値(14年度 対 7/31見通し)

## 第2四半期実績

	億円			
	今期	前回7/31	増減	
総売上高	9,439	9,440	-1	0.0%
営業利益	555	480	75	15.6%
経常利益	600	520	80	15.4%
当期純利益	479	440	39	8.9%

### 料金スライドの収支への影響

	億円		
	今期	前回7/31	増減
料金によるスライド回収	329	350	-21
原料費の増加分	188	246	-58
差し引き	141	104	37

金額は基準価格に対する増減額

### 経済フレーム

	今期	前回7/31	増減
原油価格	109.50	109.76	-0.26 \$/bbl
為替レート	103.01	103.59	-0.58 円/\$

	億円			
	今期	前回7/31	増減	
製品売上高(ガス売上高)	7,209	7,180	29	0.4%
原材料費	4,772	4,795	-23	-0.5%
(粗利)	(2,437)	(2,385)	(52)	(2.2%)
諸給与	428	433	-5	-1.2%
諸経費	1,135	1,144	-9	-0.8%
減価償却費	496	498	-2	-0.4%
LNG受託加工費	-23	-23	0	-
計	6,809	6,847	-38	-0.6%
受注工事収支	0	-1	1	-
器具販売等収支	54	54	0	0.0%
営業雑収支	53	53	0	0.0%
附帯事業収支	101	94	7	7.4%
営業利益	555	480	75	15.6%
営業外収支	44	40	4	10.0%
経常利益	600	520	80	15.4%
特別利益	61	92	-31	-33.7%
特別損失	5	5	0	0.0%
法人税等	177	167	10	6.0%
当期純利益	479	440	39	8.9%

数量・料金構成差+50億円、単価差▲21億円

数量・原料構成差+35億円、単価差▲58億円(為替影響=▲28、油価影響=▲1)

数量・構成差+15億円、単価差+37億円

人員減 他

詳細は下記参照

設備取得時期遅れに伴う償却費減他▲2億円

電力販売+3億円、LNG販売+3億円 他

社債発行費償却減+3億円 他

投資有価証券売却益▲32億円

### 諸経費

	億円			
	今期	前回7/31	増減	
修繕費	162	165	-3	-1.8%
消耗品費	72	72	0	0.0%
賃借料	89	90	-1	-1.1%
委託作業費	318	318	0	0.0%
租税課金	231	230	1	0.4%
需要開発費	86	87	-1	-1.1%
その他	177	182	-5	-2.7%

本支管修繕費▲4億円 他

除却費▲3億円 他



## 個別 主要決算数値(14年度 対 7/31見通し)

### 第2四半期実績

お客さま件数

千件

	今期	前回7/31	増減	
お客さま件数	10,865	10,862	3	0.0%
新設件数	101	97	4	4.3%

ガス販売量内訳

百万m3

	今期	前回7/31	増減			
家庭用1件当り販売量(m3)	135.5	134.0	1.5	1.1%	気温影響+0.5m3(+0.4%)、その他+1.0百万m3(+0.7%)	
家庭用	1,243	1,229	14	1.1%	気温影響+5百万m3(+0.4%)、件数差異+1百万m3(+0.0%)、その他+8百万m3(+0.7%)	
業務用	商業用	824	835	-11	-1.4%	
	その他用	425	429	-4	-0.9%	
	業務用計	1,249	1,264	-15	-1.2%	気温影響▲3百万m3(▲0.2%)、日数差異+1百万m3(+0.1%)、件数差異▲7百万m3(▲0.6%)、その他▲6百万m3(▲0.5%)
工業用	発電専用	2,048	1,997	51	2.6%	
	発電専用以外	1,491	1,507	-16	-1.0%	
	工業用計	3,539	3,504	35	1.0%	
計	4,788	4,768	20	0.4%		
卸供給	1,064	1,041	23	2.2%	気温影響+1百万m3(+0.1%)、卸先需要家の稼働増+22百万m3(+2.1%)	
合計	7,095	7,038	57	0.8%	気温影響+3百万m3(+0.0%)、発電専用+51百万m3(+0.7%)、工業用(発電専用以外)▲16百万m3(▲0.2%)、卸供給(気温影響除き)+22百万m3(+0.3%)、その他▲3百万m3(▲0.0%)	
(内大口供給)	4,359	4,319	40	0.9%		

## 連結 営業キャッシュフロー及び設備投資内訳

### 営業キャッシュフロー

実績（今期2Q 対 前期2Q） 億円

	今期	前年同期	増減	
当期純利益	570	427	143	33.3%
減価償却	681	665	16	2.5%
営業CF(当期純利益+減価償却)	1,252	1,093	159	14.5%

個別実績（今期2Q 対 前期2Q） 億円

	今期	前年同期	増減	
当期純利益	479	395	84	21.1%
減価償却	514	499	15	2.9%
営業CF(当期純利益+減価償却)	993	894	99	11.1%

実績（今期2Q 対 前回見通し） 億円

	今期	前回7/31	増減	
当期純利益	570	530	40	7.6%
減価償却	681	690	-9	-1.2%
営業CF(当期純利益+減価償却)	1,252	1,220	32	2.6%

個別実績（今期2Q 対 前回見通し） 億円

	今期	前回7/31	増減	
当期純利益	479	440	39	8.9%
減価償却	514	514	0	0.0%
営業CF(当期純利益+減価償却)	993	954	39	4.1%

### 設備投資内訳

実績（今期2Q 対 前期2Q） 億円

	今期	前年同期	増減	
東京ガス	製造設備	80	70	87.4%
	供給設備	417	366	13.7%
	業務設備他	56	56	0.1%
	計	624	503	23.9%
連結子会社設備投資(連結相殺含む)	240	715	-475	-66.4%
合計	864	1,219	-355	-29.1%

製造設備 : 日立LNG基地関連他+70億円  
 供給設備 : 需要開発関連+22億円、安定供給・保安関連他+29億円  
 連結子会社 : 前期TGバーネット分の減他

実績（今期2Q 対 前回見通し） 億円

	今期	前回7/31	増減		
東京ガス	製造設備	177	-27	-15.7%	
	供給設備	417	418	-1	-0.3%
	業務設備他	62	62	-6	-10.4%
	計	624	660	-36	-5.4%
連結子会社設備投資(連結相殺含む)	240	333	-93	-27.9%	
合計	864	990	-126	-12.7%	

製造設備 : 日立LNG基地関連他▲27億円  
 供給設備 : 需要開発関連+25億円、安定供給・保安関連他▲26億円  
 業務設備他 : その他業務設備他▲6億円

# 見通し編

## 個別 経済フレーム及び年度収支影響感度

### 経済フレーム

	今回10/30見通し			
	上期	下期	年度	
原油価格	109.50	100.00	104.75	\$/bbl
為替レート	103.01	110.00	106.51	円/\$
	前回7/31見通し			
	上期	下期	年度	
原油価格	109.76	110.00	109.88	\$/bbl
為替レート	103.59	105.00	104.29	円/\$
	増減			
	上期	下期	年度	
原油価格	-0.26	-10.00	-5.13	\$/bbl
為替レート	-0.58	5.00	2.22	円/\$

### 原油価格・為替レート変動の年度収支影響感度

	1\$/bbl	3Q	4Q	年度
売上高		-9	0	-9
原料		-24	-6	-30
粗利		15	6	21

※原油価格が1\$下がった場合の収支影響額（億円）

	1円/\$	3Q	4Q	年度
売上高		-25	-6	-31
原料		-24	-23	-47
粗利		-1	17	16

※為替が1円円高になった場合の収支影響額（億円）

## 連結 主要決算数値(今回見通し 対 7/31見通し)

通期見通し

億円

	今回 (10/30)	前回 (7/31)	増減		備考
売上高	22,910	22,880	30	0.1%	電力+19(販売量増)、海外(経済フレーム見直し等)
営業利益	1,450	1,330	120	9.0%	都市ガス+83(単価差等)、その他エネルギー+34(単価差等)
経常利益	1,370	1,260	110	8.7%	
当期純利益	1,030	970	60	6.2%	
総資産	22,220	22,320	-100	-0.4%	
自己資本	10,510	10,360	150	1.4%	
自己資本比率 (%)	47.3%	46.4%	0.9%	-	
総資本回転率 (回転)	1.04	1.04	0.00	-	
ROA(*2) (%)	4.7%	4.4%	0.3%	-	
ROE(*2) (%)	10.0%	9.5%	0.5%	-	
有利子負債残高	7,420	7,710	-290	-3.8%	
D/Eレシオ	0.71	0.74	-	-	
	当期純利益	1,030	970	60	6.2%
	減価償却(*3・4)	1,420	1,420	0	0.0%
営業キャッシュ・フロー(*1)	2,450	2,390	60	2.5%	
設備投資(*3)	2,370	2,370	0	0.0%	
TEP	272	244	28	11.5%	
(WACC)	3.6%	3.5%	-	-	
1株当たり当期純利益 (円/株)	42.08	39.62	2.45	6.2%	
1株当たり純資産 (円/株)	430.68	424.52	6.16	1.5%	
総分配性向(*5)	(*6) -	-	-	-	

(\*1)営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書値ではなく「当期純利益+減価償却」で定義した簡便法で算定

(\*2)ROA・ROE算定の総資産・自己資本は前期末・当期末の平均値

(\*3)設備投資・減価償却は内部取引相殺後額

(\*4)減価償却には長期前払費用償却を含む

(\*5)n年度総分配性向 = ((n年度の年間配当金総額)+(n+1年度の自社株取得額))÷(n年度連結当期純利益)

(\*6)2020年度に至るまで各年度6割程度とします

## 個別 主要決算数値(今回見通し 対 7/31見通し)

### 通期見通し

	億円			
	今回	前回	増減	
総売上高	20,790	20,800	-10	0.0%
営業利益	1,090	980	110	11.2%
経常利益	1,160	1,030	130	12.6%
当期純利益	910	810	100	12.3%

### 料金スライドの収支への影響

	億円		
	今回	前回	増減
料金によるスライド回収	741	819	-78
原料費の増加分	633	786	-153
差し引き	108	33	75

### 経済フレーム

	億円		
	今回	前回	増減
原油価格	104.75	109.88	-5.13
為替レート	106.51	104.29	2.22

\$/bbl  
円/\$

金額は基準価格に対する増減額

	億円				
	今回	前回	増減		
製品売上高(ガス売上高)	15,880	15,900	-20	-0.1%	
営業費用	原材料費	10,746	10,853	-107	-1.0%
	(粗利)	(5,134)	(5,047)	(87)	(1.7%)
	諸給与	872	870	2	0.2%
	諸経費	2,453	2,453	0	0.0%
	減価償却費	1,032	1,029	3	0.3%
	LNG受託加工費	-46	-46	0	-
計	15,057	15,159	-102	-0.7%	
受注工事収支	5	4	1	25.0%	
器具販売等収支	82	83	-1	-1.2%	
営業雑収支	87	87	0	0.0%	
附帯事業収支	180	152	28	18.4%	
営業利益	1,090	980	110	11.2%	
営業外収支	70	50	20	40.0%	
経常利益	1,160	1,030	130	12.6%	
特別利益	92	92	0	0.0%	
特別損失	5	5	0	0.0%	
法人税等	337	307	30	9.8%	
当期純利益	910	810	100	12.3%	

数量・料金構成差+58億円、単価差▲78億円

数量・原料構成差+46億円、単価差▲153億円(為替影響=+197、油価影響=▲314)

数量・構成差+12億円、単価差+75億円

詳細は下記参照

電力販売+11億円、LNG販売+16億円 他

関係会社受取配当金+32億円(今回131、前回99) 他

### 諸経費

	億円			
	今回	前回	増減	
修繕費	350	350	0	0.0%
消耗品費	146	148	-2	-1.4%
賃借料	179	178	1	0.6%
委託作業費	646	648	-2	-0.3%
租税課金	477	477	0	0.0%
需要開発費	232	231	1	0.4%
その他	423	421	2	0.5%

## 個別 主要決算数値(今回見通し 対 7/31見通し) 通期見通し

### お客さま件数

千件

	今回	前回	増減	
お客さま件数	10,941	10,936	5	0.0%
新設件数	218	212	6	2.8%

### ガス販売量内訳

百万m3

		今回	前回	増減		
家庭用1件当たり販売量(m3)		365.7	364.1	1.5	0.4%	気温影響+0.4m3(+0.1%)、その他+1.1m3(+0.3%)
家庭用		3,365	3,351	14	0.4%	気温影響+5百万m3(+0.1%)、件数差異+1百万m3(+0.0%)、その他+8百万m3(+0.3%)
業務用	商業用	1,706	1,723	-17	-1.0%	
	その他用	879	887	-8	-0.9%	
業務用計		2,585	2,610	-25	-1.0%	気温影響▲3百万m3(▲0.1%)、日数差異+1百万m3(+0.0%)、件数差異▲7百万m3(▲0.3%)、その他▲16百万m3(▲0.6%)
工業用	発電専用	3,885	3,841	44	1.1%	
	発電専用以外	3,032	3,047	-15	-0.5%	
工業用計		6,917	6,888	29	0.4%	
計		9,502	9,498	4	0.0%	
卸供給		2,315	2,271	44	1.9%	気温影響+1百万m3(+0.0%)、卸先需要家の稼働増+43百万m3(+1.9%)
合計		15,182	15,120	62	0.4%	気温影響+3百万m3(+0.0%)、発電専用+44百万m3(+0.3%)、工業用(発電専用以外)▲15百万m3(▲0.1%)、卸供給(気温影響除き)+43百万m3(+0.3%)、その他▲13百万m3(▲0.1%)
(内大口供給)		8,585	8,539	46	0.5%	

## 個別 主要決算数値(今回見通し 対 13年度)

### 通期見通し

	億円			
	今回	前期	増減	
総売上高	20,790	19,085	1,705	8.9%
営業利益	1,090	1,286	-196	-15.2%
経常利益	1,160	1,302	-142	-10.9%
当期純利益	910	900	10	1.1%

### 料金スライドの収支への影響

	億円		
	今回	前期	増減
料金によるスライド回収	741	-76	817
原料費の増加分	633	-242	875
差し引き	108	166	-58

### 経済フレーム

	億円			
	今回	前期	増減	
原油価格	104.75	110.00	-5.25	\$/bbl
為替レート	106.51	100.17	6.34	円/\$

金額は基準価格に対する増減額

	億円				
	今回	前期	増減		
製品売上高(ガス売上高)	15,880	14,677	1,203	8.2%	
営業費用	原材料費	10,746	9,388	1,358	14.5%
	(粗利)	(5,134)	(5,289)	(-155)	(-2.9%)
	諸給与	872	935	-63	-6.7%
	諸経費	2,453	2,441	12	0.5%
	減価償却費	1,032	1,019	13	1.3%
	LNG受託加工費	-46	-47	1	-2.1%
計	15,057	13,737	1,320	9.6%	
受注工事収支	5	11	-6	-54.5%	
器具販売等収支	82	117	-35	-29.9%	
営業雑収支	87	128	-41	-32.0%	
附帯事業収支	180	217	-37	-17.1%	
営業利益	1,090	1,286	-196	-15.2%	
営業外収支	70	16	54	-	
経常利益	1,160	1,302	-142	-10.9%	
特別利益	92	4	88	-	
特別損失	5	21	-16	-76.2%	
法人税等	337	385	-48	-12.5%	
当期純利益	910	900	10	1.1%	

数量・料金構成差+466億円、単価差+737億円

数量・原料構成差+440億円、単価差+918億円(為替影響=+575、油価影響=▲318)

数量・構成差+26億円、単価差▲181億円

数理計算上の差異費用▲52億円、人員減 他

詳細は下記参照

設備新規取得に伴う償却費増他

新設件数減 他

器具収支▲20億円(GHP台数減▲12億円等) 他

LNG販売+10億円、電力販売▲50億円 他

関係会社受取配当金+79億円(当期131、前期52)、環境整備費用取崩し益▲12億円(当期0、前期12) 他

今期:投資有価証券売却益80億円、固定資産売却益12億円、前期:固定資産売却益4億円

今期:関係会社投資有価証券評価損5億円、前期:固定資産減損損失21億円

	億円			
	今回	前期	増減	
修繕費	350	368	-18	-4.9%
消耗品費	146	145	1	0.7%
賃借料	179	180	-1	-0.6%
委託作業費	646	642	4	0.6%
租税課金	477	464	13	2.8%
需要開発費	232	244	-12	-4.9%
その他	423	398	25	6.3%

ガス栓対策引当▲13億円 他

導管関係+5億円 他

売上増に伴う事業税増+16億円 他

家庭用営業▲13億円 他

除却費+15億円、電力料+10億円 他



## 個別 主要決算数値(今回見通し 対 13年度)

### 通期見通し

#### お客さま件数

千件

	今回	前期	増減	
お客さま件数	10,941	10,809	132	1.2%
新設件数	218	224	-6	-2.6%

#### ガス販売量内訳

百万m3

		今回	前期	増減		
家庭用1件当たり販売量(m3)		365.7	368.6	-3.0	-0.8%	日数差異▲1.5m3(▲0.4%)、その他▲1.5m3(▲0.4%)
家庭用		3,365	3,345	20	0.6%	日数差異▲12百万m3(▲0.4%)、件数差異+48百万m3(+1.4%)、その他▲16百万m3(▲0.4%)
業務用	商業用	1,706	1,757	-51	-2.9%	
	その他用	879	924	-45	-4.8%	
業務用計		2,585	2,681	-95	-3.6%	気温影響▲39百万m3(▲1.5%)、日数差異▲20百万m3(▲0.7%)、件数差異+3百万m3(+0.1%)、その他▲39百万m3(▲1.5%)
工業用	発電専用	3,885	3,127	758	24.3%	
	発電専用以外	3,032	3,112	-80	-2.6%	
工業用計		6,917	6,239	678	10.9%	
計		9,502	8,919	583	6.5%	
卸供給		2,315	2,255	60	2.7%	卸先需要家の稼働増+60百万m3(+2.7%)
合計		15,182	14,519	663	4.6%	気温影響▲39百万m3(▲0.3%)、発電専用+758百万m3(+5.2%)、工業用(発電専用以外)▲80百万m3(▲0.5%)、卸供給(気温影響除き)+60百万m3(+0.4%)、その他▲36百万m3(▲0.2%)
(内大口供給)		8,585	7,802	783	10.0%	

## 連結 営業キャッシュフロー及び設備投資内訳

### 営業キャッシュフロー

見通し (今回通期 対 前期) 億円

	今回10/30	前期	増減	
当期純利益	1,030	1,084	-54	-5.0%
減価償却	1,420	1,403	17	1.2%
営業CF(当期純利益+減価償却)	2,450	2,487	-37	-1.5%

個別見通し (今回通期 対 前期) 億円

	今回10/30	前期	増減	
当期純利益	910	900	10	1.1%
減価償却	1,067	1,056	11	1.1%
営業CF(当期純利益+減価償却)	1,977	1,956	21	1.1%

見通し (今回通期 対 前回見通し) 億円

	今回10/30	前回7/31	増減	
当期純利益	1,030	970	60	6.2%
減価償却	1,420	1,420	0	0.0%
営業CF(当期純利益+減価償却)	2,450	2,390	60	2.5%

個別見通し (今回通期 対 前回見通し) 億円

	今回10/30	前回7/31	増減	
当期純利益	910	810	100	12.3%
減価償却	1,067	1,063	4	0.3%
営業CF(当期純利益+減価償却)	1,977	1,873	104	5.6%

\* 減価償却には長期前払費用償却を含む

### 設備投資内訳

(今回通期見通し 対 前期) 億円

	今回10/30	前期	増減		
東京ガス	製造設備	351	289	62	21.3%
	供給設備	1,006	907	99	11.0%
	業務設備他	239	190	49	25.3%
	計	1,598	1,388	210	15.1%
連結子会社設備投資(連結相殺含む)	772	1,092	-320	-29.3%	
	合計	2,370	2,480	-110	-4.4%

製造設備 : 日立LNG基地関連他+62億円  
 供給設備 : 安定供給関連+66億円、需要開発・保安関連他+33億円  
 業務設備他 : その他業務設備他+49億円  
 連結子会社 : 前期TGバーネット分の減他

(今回通期見通し 対 前回見通し) 億円

	今回10/30	前回7/31	増減		
東京ガス	製造設備	351	353	-2	-0.5%
	供給設備	1,006	1,000	6	0.6%
	業務設備他	239	244	-5	-1.7%
	計	1,598	1,598	0	0.0%
連結子会社設備投資(連結相殺含む)	772	772	0	0.0%	
	合計	2,370	2,370	0	0.0%

製造設備 : その他製造設備他▲2億円  
 供給設備 : 需要開発関連+15億円、安定供給・保安関連他▲9億円  
 業務設備他 : その他業務設備他▲5億円

# 東京ガス株式会社

## <見通しに関する注意事項>

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的  
事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られ  
た東京ガスの経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうるこ  
とをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、原油価  
格の動向、気温の変動、円ドルの為替相場、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への東  
京ガスの対応等があります。